

Youthful Days + PLUS

Vol. 120

冬号

発行元

相模原市立

橋本図書館

TEL: 042-770-6600

FAX: 042-770-6601

雪末



目次

○和同開珎クイズ（鴉香）、クイズ道場（紗世）・・・P3

○ぶんごうきてれつずかん文豪奇天烈図鑑（末雪）・・・P4

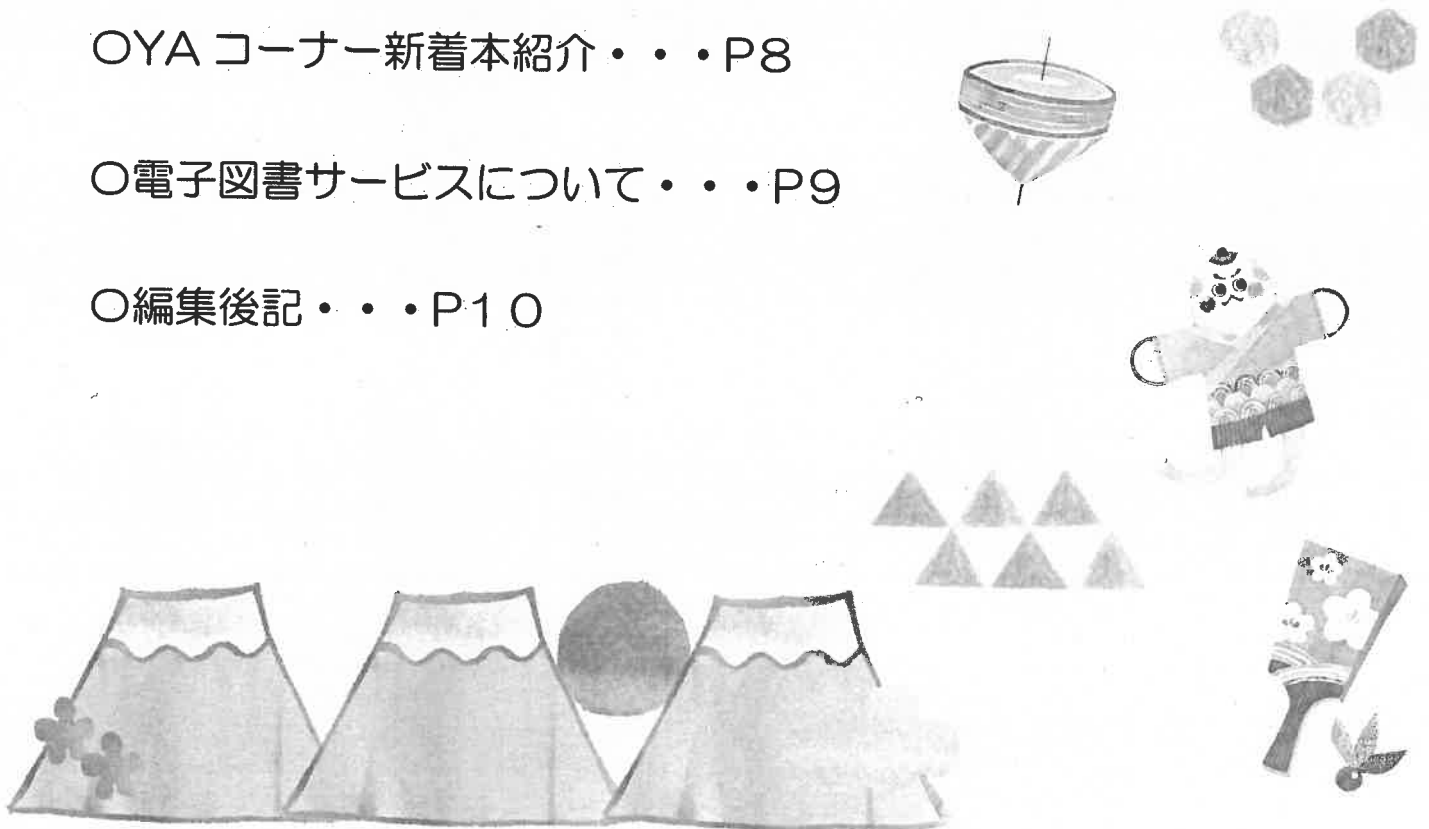
○曲の明るさは・暗さは、主に何で決まる？（さぱんだ）・・・P5

○小説（紗世）・・・P6. 7

○YA コーナー新着本紹介・・・P8

○電子図書サービスについて・・・P9

○編集後記・・・P10

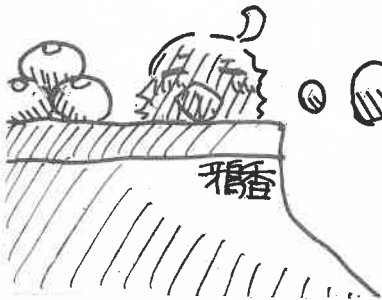


和同開珎
おとうかいじん
クイズ

矢印に沿って読むことで4つの熟語が
成り立つように中央の四角に漢字一文字を
当てはめるクイズです! やってみてください!!

① 冬
↑
炉 ← □ → 流
↓
色

② 鉢
↑
狐 ← □ → 葉
↓
急



解けたか?
寒い季節なのであたたかい漢字を
選んでみました!
風邪に気を付けてくださいね!!

①暖 ②火

紗世のクイズ道場

その3 新年 Ver

A~Fには、様々な文字が入るよ! 下のヒントを参考に、文を完成させよう!!

ABはせFねF DEはまFねF

ヒント

- ① ABが虫螺旋状に巻き回っている
- ② 朝顔にABCとられてもらい水
- ③ 山梨県AB市
- ④ ABの恩返し
- ⑤ 私はGHD'E座です(誕生日は2/6)
- ⑥ DEFライダー
- ⑦ うさぎとDE

③の市にはリニア見学
センターがあるよ!
④と⑦は有名な本の
題名だよ!



筆者の
分身の
「マカロン」

答え. A-c B-r C-v D-k E-m F-h G-a H-s

文豪奇天烈図鑑

末雪

ブンゴウキテリツスカン

No.1 太宰治 ②② 1909~1948

記念すべき第一回目! トップバッターは、、、
誰もが知る天才文豪! 太宰治!!

有名な作品は、『走れメロス』、『人間失格』など。

無頼派の一人で、青森生まれの東大にいた頭の良い文豪。

中原中也にからまれ家の布団へ、、、

さくらんぼが好きだったらしい。

太宰忌には、サクランボがおそなえされたり墓にサクランボが
ファンによって詰められる?!

ちなみに、犬の犬嫌いだった。

また、太宰は芥川を強く尊敬していて、ページいっぱい
に芥川の名前を書いたノートも見つかっている。



そんな面白い人生を歩んだ太宰で「すか」、

ここで問題です!

この太宰がいた無頼派、太宰以外のメンバーは誰でしょう!

- ① 石川淳、織田作之助、坂口安吾、檀一雄
- ② 菊池寛、山本有三、久米正雄、松岡譲
- ③ 志賀直哉、武者小路実篤、有島武郎、里見淳
- ④ 宮沢賢治、小川未明、新美南吉、鈴木三重吉

正解は、、、 ① でした!

次回もお楽しみに!

星降る線喫茶店～双子の片割れの旅立ちと涙の流星雨ラムネⅡ～作・紗世

これまでのあらすじ

海に来た双子の双葉^{ふたば}栞帆^{しほ}と満帆^{まんぼ}。コケで足を滑らせてしまった二人は海へ落ちてしまった。目を覚ました二人は、星降る線という電車に乗っており、ひんなことで喫茶店に入る。喫茶店のバリスタをしている星都^{ほし}北斗^{ほくと}によると、この電車は、死者の魂が最初たどり着く場所である星降る島行きなのだった…。

「残念ながら、あなたたち二人のどちらかは既に亡くなっております。」

「え…ねえ、栞帆、どういうこと!? 私達のどちらかが亡くなっているなんて、ウリだよわ!」
そう満帆は焦^こって言うが、栞帆は驚^{おどろ}いてもいないのだった。

「え、まさか、栞帆は…」

「今、何か記憶^{きおく}が流れて来た…。え、ウソ、嘘でしょ!」
急に席^{せき}が立ち上がり、店内を歩き回る栞帆。そして急に立ち止まり、ボツ、と言声を出す。

「わ、わたしか…死者?」

流石^{さすが}に現実を理解^{りかい}し始めた栞帆は、驚^{おどろ}きつつも冷静さを維持する。そんな中、栞帆は北斗に話しかけた。
「北斗さん。私は、海で溺^{おどろ}れて亡くな、たんですか?」

「はい、残念ながらそうです…」

そう言われると、満帆は罪悪感^{ざいあくかん}を覚えた。

「私が、先に走^{はし}っていかねければ、こんなことにはならなかったんだ…!」
そう、自責^{じせき}の念^{ねん}に馬区^{うまぐ}られる満帆。そんな中、栞帆は満帆に向かって、隠^{かく}していたことを話し出した。

「満帆、それは違うよ。」

「…え?」

栞帆は、覚悟^{かくご}を決めて話す。

「私はね、実は、星の子なんだ。」

「…どういうこと?」

「私達のお母さんが妊娠^{こうごん}した時、エコー検査でお月腹^{おつきはら}のなかには赤ちゃんが1人しかいなかったの。確か、妊娠^{こうごん}して4ヶ月にならない位に、お父さんと二人で、たご座流星群^{たござりゅうせいぐん}を見たんだって。その時にお母さんは、双子が欲しい、って、願^{ねが}ったの。神社で絵馬^{えうま}に書^かいたくらい、本当に双子が欲^ほしかったんだって。それで、お母さんのお月腹^{おつきはら}に宿^{やど}ったのが、私なんだ。」

「確かに、お母さん、双子が欲しい、って言ったもんね。待望^{たいぼう}の赤ちゃんが双子でめっちゃ喜^{よろこ}んだ、ってよく聞いたなあ。」

昔^{むかし}からずっと聞かされていたなあ～、と満帆は思^{おも}い出す。

「流星群^{りゅうせいぐん}を見た少し後^{のち}に行^いった妊娠^{こうごん}4ヶ月検診^{けんしん}で、急に双子がお月腹^{おつきはら}の中にいます、ってな、って。

それで私が生まれてから、お母さんの夢^{ゆめ}に星の魔女^{ほしのまじ}が出てきて、双子の姉^{あね}は星の世界^{ほしのよ}の子で、15歳^{じゅうごさい}までに死^しぬ、って言われたの。どうやって亡^なくなるのかは言^いわれていないの。でも、今回の事^{こと}で、私は、自分の人生^{じんせい}に、自分で区切り^{くぎり}を付けちゃったんだ…!」

「し、栞帆、!」

泣^なき出し、膝^{ひざ}から崩^{くず}れ落ちそうになった栞帆を、満帆が急^{いそ}いで馬区^{うまぐ}けより助^{たす}ける。

「栞帆は、そんなに辛いモノを背負^{せお}、っていたんだね。気づいてあげられなくて、ゴメン。」

涙^{なみだ}を流^{なが}しながら、満帆は栞帆を抱^{かか}きしめる。

「満帆。私はもう、戻^{かえ}れない。栞帆しか戻^{かえ}れないから最期^{さいご}に、いつもの、やらない?」

「…やれるの？でも、喫茶店にあるようなものじゃないよ。」

「ごさいますよ、ここに。」

「え、…？」

北斗が持ち上げたバケツの中には、冷たい氷水の中に瓶ラムネが2本入っていた。

「なんで、あるんですか？」

「僕の基が働いただけです、梨帆さん。…さあ、席に座、て下さい。」

そう言われ、梨帆と満帆は向かい合、て席に座る。

2人の目の前には、焼き鳥、焼きそば、あたあめ、りんごあめ、かき氷といった、THEお祭りメニューが置かれていた。そして最後に置かれたのは、ラムネだった。

「こちら、本日のドリンク、流星雨ラムネでございます。ふたご座流星群が流星雨として流れてきたときに閉じ込めたものです。まだ新鮮なのでとてもシュワシュワすると思いますよ。」

「いただきます。」

二人で食べる最期月のご飯。二人は、いつも以上に心を込めて挨拶をした。

最初は、各々の食べたいものを食べ、お腹がいっぱいになったところで、二人はラムネを開けた。

「おいしい!!!」

一口飲むだけで忘れられない程冷たく、程よい甘さ。何より、強炭酸と同じくらい流星炭酸が入っているのだ。

おいしすぎて、二人は一気に飲み干す。

そして二人は、恒例行事であるおれをするのだった。

「あ、私のビー玉、白色だ!! 真珠みたい…。梨帆のは？」

「私のは、オレンジだよ。」

二人は、ビー玉を光に照らしながら話していると北斗に話しかけられた。
とうとう、お別れの時間が近づいてきたのだ。

「満帆さんには選択肢があります。このまま電車の終点まで乗っていくか、終点に着くまでにこの金建を使い、扉を開け、現世に戻るか。」
そう語りかけた北斗の手には、青石の石が埋め込まれたアンティーク調の金建があった。

つづく



コーナー 新着本紹介(2024.10月~12月受入分)

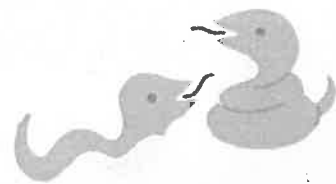


YA913/コウベ『かわいいわたしのFe』

神戸 遥真/作 は一みん/絵 文研出版

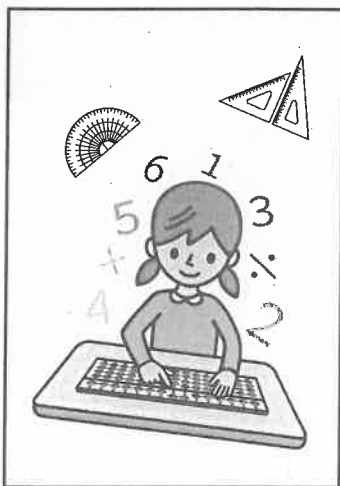


「後悔しないように。わたしは、わたしが好きなことを大事にするって決めた。」
かわいいキャラを装っている中学1年生の菜摘は、鉄道が好きだということを誰にも話したことはありません。しかし、同じ新聞委員会の地味系メガネ男子の羽ヶ崎くんはがざきくに鉄道写真の保存フォルダを間違えて送ってしまい、鉄道が好きであることを知られてしまいます。カメラが趣味の羽ヶ崎くんは写真を撮るコツを教えてもらっているうちに、本当は大事にしたいことが見えてきます。YA世代の皆さんにも、自分の気持ちに正直に、胸が熱くなってキュンとするような好きなことを選んで欲しいです。



YA410『天才なのに変態で愛しい数学者たちについて』

郷 和貴/著 千葉 逸人/監修 和田 ラヂヲ/イラスト KADOKAWA



天才数学者たち15人の人生と、その功績をまとめた数学史です。「数学ってなんの役に立つんだろう」「教科書で教わる数学ってどうやってできたんだろう」などの疑問が、数学者たちの面白いエピソードを読み進めていくうちに解決します。難しい数式などではなく、イラスト付きなので、気軽に楽しんで読むことができます。数学に興味がある人にはもちろん、苦手な人にもおすすめです。この本を読むと少し数学の見方が変わるかもしれません。数学者たちの人生をのぞいてみませんか？

その他のおすすめ新着図書

分類	書名	著者名	出版社名
YA007/黒	図解でわかる14歳から考えるAIの未来と私たち	インフォビジュアル研究所/著	太田出版
YA140	高校生に知ってほしい心理学	宮本 聡介/編著 伊藤 拓/編著	学文社
YA302	地べたから考える 世界はそこだけじゃないから	ブレイディみかこ/著	筑摩書房
YA457	古生物がもっと知りたくなる化石の話	木村 由莉/著	岩波書店
YA641/金	牛乳から世界がわかる 酪農家になりたい君へ	小林 国之/著	農山漁村文化協会
YA780	最新のスポーツ科学で強くなる!	後藤 一成/著	筑摩書房
YA810/赤	マンガと図解でわかる! 中学生からの国語の勉強法	神田 伊織/著	ナツメ社
YA913/オカダ	ねがいの木	岡田 淳/文 植田 真/絵	B.L出版
YA923/チヨウ	ヤー・ジュンと犬の物語	張 学東/著 関口 美幸/訳 倉持 リツコ/訳	教育評論社
YA933/ペイバ	クロニクル千古の闇 8	ミシェル・ペイヴァー/作 さくま ゆみこ/訳	評論社

知ってる？ 電子書籍サービス

2022年9月1日から電子書籍サービスが始まりました。もう利用したことがある人もいるかな？相模原市内に住んでいる人、相模原市内の学校に通っている人なら、電子書籍サービスのホームページから利用申請すれば誰でも利用することができます。図書館の窓口で利用申し込みをすることもできます。
※利用にはIDが必要です。IDは図書カードについているNをとった番号か、学校から配布されたIDがある人はそれを使ってね！

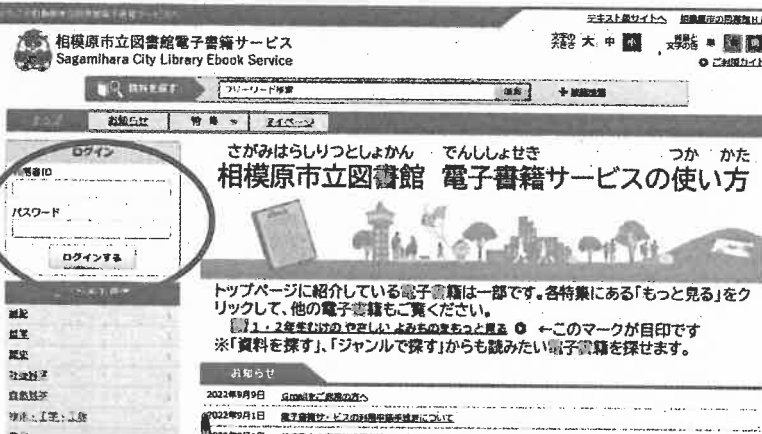


まずは「相模原市立図書館電子書籍サービス」を検索！

ログインしてみよう。

IDとパスワードを入力！

※図書館のマイライブラリーとは別にパスワードを設定する必要があります。



下にスクロールしていくと……



電子書籍の表紙が出てくるよ！
読みたい本を選んで“借りる”ボタンをクリック！
※借りられている本には“予約する”と出ているから、予約してね！順番がまわってくると借りられるよ！

利用申請がまだの人は
このバナーから
申請してね！

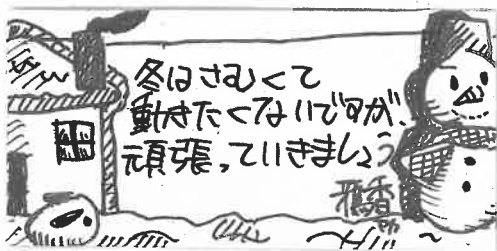
★借りられる本は2点まで、貸出期間は1週間です。
(1週間経つと自動的に返却されます)
★人気の本は予約してね！(予約できる本も2点までです。)

スマホでも見られるから、
隙間時間に
本が読めるよ～！



編集後記

冬号 紗世



もうすぐ大学生になるのにも関わらず、
計画的に動けないのが悩みます。
今回の「星降る線」は、内容がちゃんと
重めで書いていて結構ツラかったです。
スしぶりに書きました。 紗世

2024年はみなさん
(どんな年でしたか??)
今年も巳(み)のり多き年と
なりますように
ミカン

水に水が張っていると
どうしても取ってしまう
未雪

定期テストの系冬れた
今の私は最強です
本と今の時季は、病氣乾
燥に気を付けて...
さばんだ

朝寒くて、なかなか布団から、出られません。
風邪も流行しているの
体調管理に気を付けよう!!
さくらんぼ

お知らせ

YD 編集委員募集中!

Youthful Days+PLUS の企画・執筆・編集・製本に参加してみませんか?

次回の会議は1月12日(日) 午後2時から

場所: 橋本図書館 グループ読書室(変更になる可能性があります)



奥付

Youthful Days+PLUS (Vol.120)

令和7年1月5日発行

Youthful Days+PLUS 編集委員会/編著 相模原市立橋本図書館/発行

SDGs
未来都市
さがみはら

